

■ 本来の姿

ある大学の理事長が毎年、入学者数の定員割れに困っていました。しかし理事長が辞める情報を流すと、受験者数が倍増しました。問題に対して自分が原因であると気づかなかった理事長のように、人は自分のことが見えていません。自分の問題や素晴らしい本当の自分を見出させていますか？

教えから学ぶ恵みもありますが、聖書は生き様も伝えており、生き様を学ぶと私たちは変わります。今週もペテロの生き様から学んでいきます。

イエスが命をかけて十字架に向かうとき、ペテロは命をかけてイエスを知らないと言う大失敗をしました。しかしペテロは死を目前にしたとき、私たちが近視眼にならないように、こんな大失敗をした裏切り者の自分でさえこんなに変わるということを伝えたい思いで手紙を書きました。死は分かつものではなく、結び合わされるものです。私たちは生きることもキリストの姿を表し、死ぬこともまた神が益としてくださいます。

『だからこそ、あらゆる熱意を傾けて、信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。』(IIペテロ1：6～7)

徳とは卓越性(自分の本来の素晴らしい姿)のことです。自分のために命をかけてくださったイエスキリストを信じることによって、自分の卓越性を信じることができ、それを体験して知ると失敗しません。教会で様々な人に出会うと、今までの否定的な価値観が違ふことに気づかされます。そのように自分が素晴らしいことを体験すると、もっと信じられるようになります。だから召し集められた人たちと共に礼拝する関係のコミュニティは大切です。今まで比較してプライドで生きてきた私たちは、弱さを認めて卓越性を信じると、他の人の素晴らしいところも見出せ愛せるようになります。その人の素晴らしさを信じる人がいると、その人は変わります。

■ 感じる

ある生徒が楽譜を見て上手に演奏をしたとき、先生から「楽譜通りに弾いたと思うが、この楽譜には答えはない。この曲を作ったバッハが、何故この曲を作り奏で礼拝したのかは今は誰も見た人はいない。だからあなたは感じ表現しなければいけない。」と言われました。

ペテロの手紙も実際にペテロを見た人はいませんが、遺言として残されたこの手紙から自分が今どう生きるべきかを、聖書から「感じる」ことが大切です。ペテロは口出ししてしまったとき、神が「これはわたしの愛する子、わたしの喜ぶ者である。彼の言うことを聞け。」と天からかかったこの御声を、自分自身で聞いたことを思い出していました(IIペテロ1:15~18 マルコ9.2-10)。

私たちにも同じ言葉が語られています。あなたも自分自身で聴くことが大切です。

■ 目撃者として

ペテロは、作り話ではなくキリストの威光の目撃者、証者であると言っています。ペテロの証をあなたも継承したのです。死は私達が生を受けたその時から、背負うものである。伝えました。私達は自分に与えられたアイデンティティに立って生涯を全うすることが、聖書が私達に与えている責任であります。自

分の人生で体験したことを、生き様を通して伝えるのです。私達は神の子、その存在を喜ばれています。今ある問題や弱さに対して向き合い乗り越えるとき、私達は目撃者となることを覚えましょう。だからこそ、近視眼になるなど聖書は伝えていきます。

■ 神の方法

アルフレッド ノース ホワイトヘッド哲学者はクリスチャンでしたが、途中から信仰を捨てて無神論で生きると決めました。老年になったある豪雪の遭難しかけているとき、穴の中に落ちていた老婆の賛美が聞こえ必死で助けました。その老婆は「こんな老婆を助けてくれるなんてよっぽど熱心なクリスチャンなのです」と言うと、彼は「今は無神論者です。」と応えます。「そうかしら？あなたの内側には染み付いているのです。」と言われたことから、彼は教会に戻り、その後は素晴らしい記録を沢山残し、彼の考えは多くの人に影響を与えました。このように神は全く予想しない方法で教えて本来の道に戻してください。

ある姉妹がいました。姉は小さいときから妹の面倒を見ていましたが、妹が非行に走り、いなくなればよいと思っていました。しかし、ガンで先に死ぬことになったのは姉の方でした。妹は姉の病気を知ると変わりました。子供の頃に姉がしてくれたように姉に良くし、姉の残りの時間に生きる力をくれる存在になりました。あなたのしたことも、思い通りにならなくても生きています。命をかけて残そうとするイエスの姿も感じられます。

■ 失敗を繰り返さない決断

今、逃げているその問題や弱さがあるのなら向き合う決断をしましょう。ペテロが死期を察して残した最期の手紙は私に向けられたものです。だからこそ、ペテロが造り変えられる姿をみて自分も変わることができるという希望があります。「できない」自分を偽らず、素直に神様の前にできれば良いのです。「イエスキリストに起こったことは、私にも起こる」だから私達も変わることができます。生きる者には信じるという責任があります。「変わることができる！！」事を信じましょう。

最後に…

死は、気づかせ、結び合わされるものです。イエスの十字架の死によって、ペテロは生きる指針を示す姿に変わりました。生きています。信じる責任があります。ペテロの遺言から、神の方法と計画を信じ乗り越えていきましょう。

失敗しても逃げずにあきらめずにイエスと共に生きると決断しましょう。創造された本来の素晴らしいあなたの姿に戻っていきます。

あなたが信じるなら、神の栄光を見るとイエスキリストは言われました。

(要約者:高橋奈津江)

(2021年7月25日)